

文化祭大盛況！ 秋晴れに後押しされて

校長 鈴木 正美

三面川の鮭漁も間もなく最盛期を迎える時節となりました。そんな郷土の風物詩を全校のみんなや地域みなさんに伝えようと、晴れた日のグラウンドには、総合の時間に「三面川の鮭の歴史や文化」を学習している4年生にお願いして鮭幟をあげてもらい、秋の大空を泳がせています。

さて、先般の文化祭には、大勢の皆様からご来校いただき、子どもたちの作品鑑賞はもちろんのこと、PTAやおやじの会主催イベント、ミュージックコンサート等へも多数参加、参観くださいました。おかげ様でどの会場も大盛況となりました。感謝です。

また、今年は好天に恵まれたせいか、昨年にも増して、三世代（子、親、祖父母）が一緒にお越しのご家族が多いなあと感じました。その様子から、きっとより多くの家族で作品や活動を見てまわり、それぞれ励ましの言葉を掛けてくださるんだろうなあと想像しては、うれしく、ありがたい気持ちになりました。それは、学校でも、子どもたちは、称賛や励ましをバネにして「自分の力を高めていく」と考えているからです。

文化祭の開催にあたり、多くの皆様からご協力をいただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

<11月3日全校朝会での校長講話>

（前略）最近、朝玄関に立っていて強く感じるがあります。それは、みなさんのあいさつがとてもよくなっていることです。「元気があって、とてもさわやかなあいさつ」や「恥ずかしがりながらも自分から進んで、笑顔を届けてくれるあいさつ」など、とてもすばらしいあいさつが飛び交っています。そのおかげで、村上小の一日が気持ちよくスタートしています。あいさつが当たり前できるようになったみなさん。「おめでとう。すばらしいことです。」もう少しでそうなるみなさん。「がんばってください。応援します。」

さて、今日11月3日、文化の日は、村上小の文化祭です。みなさんが、心を込めて作り上げた絵や工作などの作品を飾って、家族や地域みんなでそれを見て楽しんでもらっています。

私は昨日、各教室を回って作品を見せてもらいました。みなさんが工夫したり、苦労したりして、立派に作り上げた作品を見て、みなさんの思いや気持ちが伝わってきました。ここでも村小っ子の「本気」がたくさん感じられて、とてもうれしくなりました。よくがんばりました。

みなさんも、この後学級ごとに回って、友達作品をよく見て、お互いにがんばったところやよい所を探して、教え合ってください。また、一つ上の学年や一つ下の学年の作品をよく見ると、来年はこんな作品に挑戦するのかと楽しみになったり、去年は自分たちもこんな作品を作ったなあと、懐かしがったりできるのではないのでしょうか。

先生方の中にも、絵を描いてがんばった人がいます。倉崎先生です。村上市の展覧会で「市展賞」をもらいました。しかも、2年連続です。すばらしいことです。

最後ですが、今日の文化祭のために、昨日5、6年生が残って、一生懸命に掃除や飾り付けの仕事を手伝ってくれました。お陰で短い時間できれいに準備が整いました。とても助かりました。ありがとうございました。では、ルールやマナーを守り、楽しい一日にしましょう。